

## ふるさとの社は「あなたの社」 植え・育て、未来の仙台市民のための社づくりと一緒に！

### ① 植樹会・育樹会に参加する 個 団

・本プロジェクトでは、「植樹会」や「育樹会」を定期的に開催しています。  
開催情報は随時仙台ふるさとの社 再生プロジェクト連絡会議ホームページでご案内しています！

### ② 養成講座等の植え・育てるための学びの機会に参加する 個

・植樹や育樹のための学びの機会を講座等の形で開催しています。

### ③ 団体・企業で「エリア設定型の社づくり」に参加する 団

・海岸林などにおいて、企業等の団体ごとにエリアを決めて、都合に合致します。せて育樹をしていただけるエリア設定型の社づくりも採用し、推進していきます。

### 苗木の栽培が始まっています

コナラやケヤキ、シラカシ等の苗木を作っています。市内の公園等から木の実を採取し、ポットに播種して、3年程度の育苗を終えた後は海岸防災林の新植や補植に使用します。  
苗木栽培に興味のある方は一緒に活動してみませんか。  
詳しくは事務局までご連絡ください。



### 海岸林育樹サポーター養成講座(毎年4月募集)

海岸防災林の育樹を市民協働で実施するため、除草や間伐などの作業を通じた実践的な講座を行っています。植えたい樹木の特徴や沿岸地域の自然・歴史なども合わせて学べる講座となっています。



## みどりに触れ、 楽しみながら、広め、伝える！

### ① プロジェクトを広める！

・市民協働のプロジェクトとして、より多くの方々と一緒に進めます。  
・輪を広げていくには、参加者ひとりひとりの発信も重要です。

### ② 後世に伝える！

・社づくりを通して震災の記憶と復興の過程を、後世に伝えていくために、未来を担う子どもたちと進めます。  
・学校等の教育機関と連携して進めます。  
・全国からの被災地研修やボランティア活動を受け入れます。



## ふるさとの社を活用し、 より豊かな“暮らし”と “憩い”を！

### ① 自然の恩恵を感じ、憩う場所づくりを！

② 海岸や貞山堀、海岸公園の遊びやスポーツ、学習活動等を通して、ふるさとの社をより身近なものに！

震災後の貞山運河では、ボートやカヤックの体験なども行われています。



## このプロジェクトを支える様々なかたち！

この活動は、次の様々な資源(リソース)を必要とします。ご支援をお待ちしています！

### ① 寄附 個 団

・仙台市の「仙台ふるさと応援寄附」で「ふるさとの社再生」のメニューを指定してご寄附をお願いいたします！  
・活動しているボランティアへのご寄附をお願いいたします。(ご寄附の内容は事務局で御相談ください)

### ② 人材(マンパワー)の提供 個 団

・上記「植える」「育てる」機会への参加は大歓迎です！

### ③ 資材の提供 個 団

・植樹、育樹に必要な器具等のご提供もお待ちしております！

例えは 移植ゴテ、一輪車、肥料、土、防風ネット

### 連絡会議に加入する 団

本プロジェクトは、連絡会議を組織して運営しており、団体での加入が可能です。

個 個人、家族で！ 団 団体・企業向け！

お問い合わせは、事務局までご連絡ください。

仙台市ホームページ「ふるさとの社再生プロジェクト」

<http://www.city.sendai.jp/ryokukasuishin/kyurashi/shizen/midoriji/project/index.html>

「仙台ふるさとの社再生プロジェクト」  
<https://www.facebook.com/sendafurumori/>



仙台ふるさとの社再生プロジェクト連絡会議

<https://sendai-furumori.org>

事務局 仙台市建設局百年の社推進課

電話 022-214-8392

メール [ken010242@city.sendai.jp](mailto:ken010242@city.sendai.jp)

発行：2018年2月  
改訂：2019年2月 2021年3月 2022年3月 2023年3月



## 第1回グリーンインフラ大賞 最優秀賞事業



仙台東部地域のみどりの再生を目指す

# ふるさとの社 再生プロジェクト 2023

## 市民の手でふるさとの社を再生する

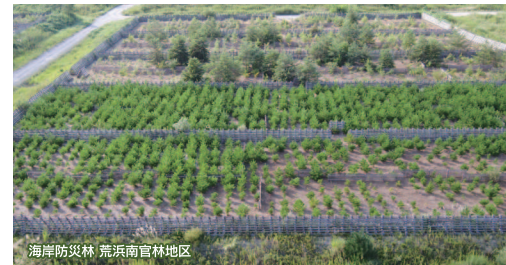
“杜の都”仙台には、奥山と里山、平野、海岸などの豊かで広大な自然環境が身近に存在し、それらは私たちの暮らしやまちの環境をより豊かなものとしています。

かつて東部地域には、防風・防砂のための藩政期以来の海岸林や、憩いの場としての海岸公園とそのみどり、農村に暮らす方々の屋敷林：居久根(いぐね)など、私たちの暮らしに必要な不可欠な多様なみどりがありました。

2011年3月に発生した東日本大震災の津波により大きく失われた、仙台東部地域のみどり。

このプロジェクトは、これらの仙台東部地域一帯のみどりを、市民ひとりひとりの「ふるさとの社」と捉え、再生に取り組んでいくプロジェクトとして、2014年からスタートしました。

30年かけて植え育て、震災の教訓・記憶、復興の記録として、また、みどりの財産として様々な立場の人々の協働により次代につないでいく、壮大で息の長い震災復興のメモリアル事業です。



# 東部地域のみどりについて

はくせいしょう いくね  
白砂青松と居久根のある田園風景

東部地域のみどりもたらすもの

- 防潮・防砂・防風
- 地域固有の歴史・文化による景観形成
- 生物多様性保全
- レクリエーション・文化活動の受け皿
- 津波減衰

仙台市民にとって  
必要不可欠な共有財産！  
「杜の都・仙台」の  
アイデンティティの  
一つでもあります。

## 海岸線の植樹完成



※平山孝氏提供（昭和28年） 宮城野区新浜

海岸線の多くは江戸時代の集落・農地の開墾と並行して当時の住民の手によって植えられました。宮城野区新浜では、昭和13年に国有地の払い下げを受けて地域住民が砂防林組合を結成し、15年かけて様々な困難を乗り越えながら松の植林が行われました。ほぼ完了した昭和28年、新浜の人々は愛林碑（記念碑）を建てました。写真はその除幕式の様子です。

## 震災前の荒浜バス停



※がつつ11にちをわすれないためにセンター提供 撮影：工藤寛之氏（平成12年）

## 震災前の居久根



※高橋朋夫氏撮影・提供（平成13年） 宮城野区南郷生

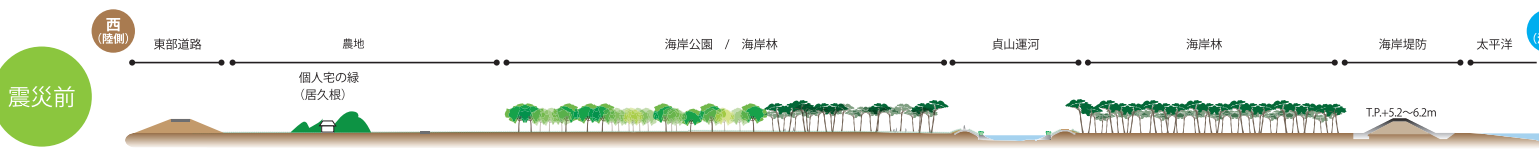
屋敷林：居久根（いぐね）も、仙台東部地域の暮らしには欠かせないものでした。防風、防砂の役割の他にも、燃料、食料、目隠し、環境を調節する機能（日射遮蔽による気温調整等）など、様々な役割を果たしていました。ライフスタイルも変わり、居久根のある風景は減少していましたが、仙台平野に独特の景観をつくりだしていました。

## 海浜植物や生き物など



クワジ、ハマゴウウ、コウボクウミ

## どこに、何を、どのように植えるの？



## 東日本大震災 2011年3月11日

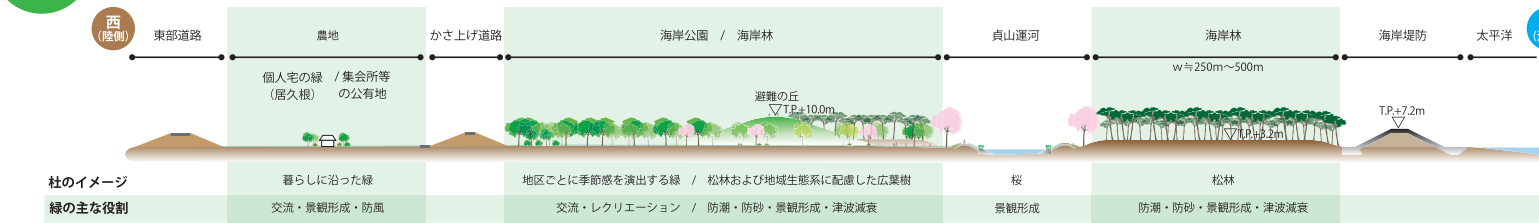
### 目標

震災で失われた緑と新たに整備する住宅地や公園などに植える緑を「仙台東部地域の暮らしと景観を守る『ふるさとの杜』」として、それぞれの場所にふさわしい緑をできる限り市民の手で植え・育てていきます。10年20年30年と、ひとりひとりの暮らしの中に緑と浜のある環境が根付いていき、もう一度仙台東部地域の自然を楽しむライフスタイルを創っていきます。

約10mの高さの大津波により海岸林や居久根の大部分は倒され、流され、残った樹木も塩害によりほとんどが枯れてしまいました。



写真提供：仙台市



**プロジェクトの計画期間** 震災後概ね30年をプロジェクトの期間として設定します。10年ごとに実施状況を振り返り、目標を見直します。

	第一期 2011年~2020年 “みどりの復興”の期間 連絡会議のネットワークで多くの樹木を植え・育てる！ 本格的な植樹期間。植えるためのネットワークを構築。震災後概ね10年をめどに植樹を完了させる。また、育てていくための人づくりや活動を支える仕組みづくりも並行して進める。 植樹会／育樹会の実施 ・植樹会や育樹会 ・各団体の緑づくりの活動への参加	第二期 2021年~2030年 育樹の輪で育て、杜と共に、成長する！ 本格的な植樹期間を終えて、海岸林や海岸公園等に植樹した木々が10年前後になり、背丈を越える森が形成されるようになる。最初に植えた木々が風除けの役割を果たすようになり、防風柵が不要になってくる。集落では、成長の早い庭木が、風除けや小さな木陰をつくるようになる。 育樹会の実施による、継続的な手入れ作業 ・除草・補植・支える仕組みの運用 ・剪定・刈り	第三期 2031年~2040年 市民の手で再生された「ふるさとの杜」を活用し、次代に伝える！ 植樹完了から10年のふるさとの杜。森林が成熟、安定へ。集落の庭木等も安定し、中には暮らしに沿った形の居久根が再生されているケースも。 継続的な手入れ作業の実施 杜を活用した企画の実施 ・除伐・間伐・補植 ・杜を活用した企画の実施 ・生物多様性環境の再生
それぞれの時期に必要な「5つの力」	2歳 身長0.90m 樹高0.60m	12歳 身長1.55m 樹高7.5m	22歳 身長1.75m 樹高11.00m
植える	■	■	■
育てる	■	■	■
支える	■	■	■
伝える	■	■	■
活用する	■	■	■

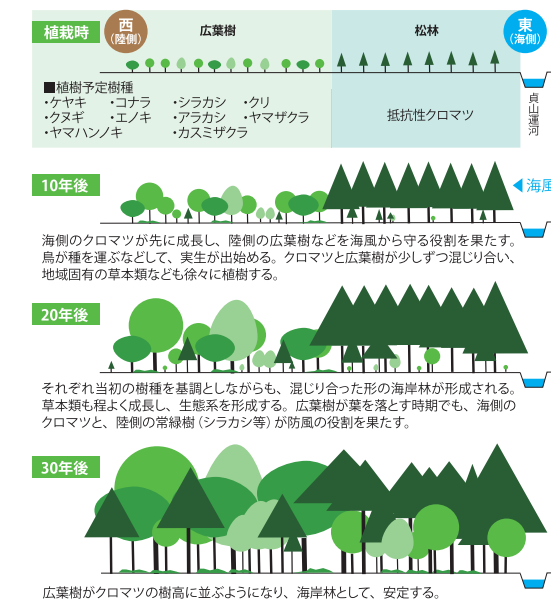
## 居久根の保全・再生

- 現在残っている居久根の保全  
文化的景観や生態系を維持する地域資産として保全していきます。
- 暮らしに沿った居久根の再生



高木が生い茂るこれまでの「居久根」を個人で所有・管理を継続するのは大変…。集落の暮らしや住まいも変わって、居久根に求められる役割も変化しています。「自然の豊かさを暮らしに取り入れてきた先人の知恵」が「居久根」というカタチになったと捉え、これからの暮らしに沿った新しい居久根をみんなの手でつくり、次の世代へつないでいく事が必要ではないかと考えます。  
(仙台平野「みんなの居久根」プロジェクトのパンフレットより一部引用)

## 海岸線の成長イメージ (※本プロジェクトで植樹する貞山運河より西側(陸側)部分)



## 仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議



30年にわたるこのプロジェクトは様々な立場の人の協働によって進めています。植樹会や育樹会を企画をするとともに、より多くの方々がこのみどりの再生を通じて地域の復興を実感できるよう、仕組みづくりにも取り組んでいます。

正会員	花と緑の力で3.11プロジェクトみやぎ委員会 仙台緑のボランティア団体連絡会 特定非営利活動法人 都市デザインワークス 認定特定非営利活動法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク 仙台CATV株式会社 第一生命保険株式会社仙台総合支社 株式会社藤崎 新浜町内会 南蒲生町内会 公益財団法人 仙台市公園緑地協会 仙台市建設局 百年の杜推進課
準会員	仙台商工会議所青年部



## 表彰・顕彰

美しくづくり大賞「特別賞」  
2019年6月

第1回グリーンインフラ大賞  
「国土交通大臣賞」  
2021年3月



## これまでの主な活動

2023年3月現在 植樹本数は概数です。



### 植樹会

《2013年度》	第1	60名
《2014年度》	第2回	100名
《2015年度》	第3回	350名
《2016年度》	第4回	230名
《2017年度》	第5・6回	700名
《2018年度》	第7・8回	900名
《2019年度》	第9・10回	520名
《2020年度》	第11回	260名
《2022年度》	第12回	70名



#### 花と緑の力で3.11プロジェクト

久保野キッズアグリガーデン 2015年11月

#### 都市デザインワークス

仙台平野「みんなの居久根」プロジェクト  
2014年10月～

南蒲生地区の8ヶ所に植樹  
新浜地区の5ヶ所に植樹

#### 新浜町内会/花と緑の力で3.11プロジェクト

新浜地区3ヶ所とみんなの広場に植樹  
2017年4月～

#### 仙台商工会議所青年部

15周年記念植樹(エリア設定型の杜づくり)  
1,600本のクロマツ 2017年11月

#### 株式会社藤崎 創業200周年記念事業

海岸防災林植樹 0.38ha  
2,000本のクロマツ 2019年6月



#### 新浜町内会・その他関係団体

貞山運河の渡し船、自然と歴史の学習会  
海浜植物の植栽、新浜フットパス

#### 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

生き物調査 2012年～



### 育樹会

《2016年度》	第1・2回	54名
《2017年度》	第3～5回	114名
《2018年度》	第6～11回	273名
《2019年度》	第12～17回	345名
《2020年度》	第18～25回	392名
《2021年度》	第26～31回	138名
《2022年度》	第32～35回	164名



育樹会では、除草作業とともに東部地域の自然に親しむための体験プログラムを実施しています

#### 仙台市公園緑地協会/向山小学校

どんぐりの森づくりプロジェクト  
2012年10月～



向山小学校の1・2年生100名とともに毎年500本のどんぐり苗を育てています。

#### 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

大内さんちの居久根プロジェクト 2012年10月～  
FEEL Sendai/ユースカレッジや地域の人と共に進めています。植樹(200本)や花畑・メドウガーデン作り



### 仙台緑のボランティア団体連絡会

海岸植物のレスキュー活動(深沼～蒲生地区にて)  
海岸の清掃活動  
森の案内人養成講座

### 学習プログラム

《2022年度》16校

吉成小学校、立町小学校など

#### 都市デザインワークス/南蒲生町内会/新浜町内会

イグネススクール 2016年9月～  
各町内会集会所にて緑づくりを学ぶ講座を開催

#### 南蒲生町内会

埼玉県立鶴ヶ島清風高校の視察受入 2017年8月～  
震災遺構仙台市立荒浜小学校の見学、育樹ボランティア



今後もこのような全国からの体験視察をコーディネートしていきます。

#### 都市デザインワークス

韓国金海市からの視察受入 2018年9月

#### 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

七郷小ふるさと再生プログラム 2016年～

ひがろく桜プロジェクト 2017年～

六郷小・福島県只見町立朝日小 2018年7月

神戸親和女子大学 2019年8月

武蔵大学(東京) 2019年8月

# 活動マップ

※2024年度以降の植樹本数・面積は  
2023年3月時点での計画です。

